

亶理町の結果概要について

亶理町教育委員会

■調査の概要

1 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日 令和5年4月18日(火)

3 調査対象学年 小学校第6学年(260名), 中学校第3学年(254名)

4 調査事項

- (1)教科に関する調査 小学校6年生:国語, 算数 中学校3年生:国語, 数学, 英語
- (2)質問紙調査
 - ①児童生徒:学習意欲, 学習習慣, 生活習慣, 規範意識, 自己有用感等
 - ②学校:授業改善, 生徒指導, 教科の指導方法, 学校運営, 教職員の資質向上, 家庭や地域との連携等

■教科に関する調査結果の概要

- 小学校において、国語の平均正答率は全国平均を2.2ポイント、算数は4.5ポイント下回っています。しかし、国語と算数の平均正答率は、令和4年度に比べて全国とのかい離が大幅に小さくなっています。
- 中学校において、国語の平均正答率は全国平均を2.8ポイント、数学では5.0ポイント、英語は「聞くこと、読むこと、書くこと」で6.6ポイント、「話すこと」で5.4ポイント下回っています。
- 小学校の国語は、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの捉えに課題が見られることから、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分の考えをまとめるなどの「話す・聞く」活動の工夫改善が必要です。
- 中学校の国語は、「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめ、文章を整える」問題や、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」問題での正答率が特に低いことから、様々な文章に触れたり、自ら書くことを通して語句の用法や叙述の仕方に慣れたり、文語の決まりや訓読の仕方についての知識をしっかりと身につけさせるために古典や漢文の音読に繰り返し取り組んだりするなど、学習活動の工夫が必要です。
- 小学校の算数は、日常の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを説明することに課題が見られることから、場面を解釈して数量の関係を捉え、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明する活動を取り入れるなど、学習の方法の工夫が必要です。
- 中学校の数学は、「数に関する事象を考察する場面において、成り立つと予想される事柄について数学的に説明する」問題や、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」問題での正答率が特に低いことから、数学的な見方・考え方を働かせて事象の結果を予想し説明すること、同じく数学的な見方・考え方を働かせて具体的な事象を数学的に捉えさせ、答えを導き出す過程を説明させること等を、授業で多く取り入れていくなどの工夫が必要です。
- 中学校の英語は、「聞くこと・読むこと・書くこと」において、「情報を正確に聞き取る」問題、「情報を正確に読み取る」問題、「必要な情報を読み取る」問題、「未来表現の肯定文や過去形の疑問文、依頼する表現の分等を書く」問題での正答率が特に低い結果となりました。また、「話すこと」においては、「即興で伝え合ったり、考えとその理由を述べ合ったりする」問題での正答率が低いです。これらのことから、単語を含め、構文等を書いて覚える取組の徹底と、会話を中心としたコミュニケーショントレーニングをふんだんに取り入れるなどの授業の工夫が必要です。

1 令和5年度の平均正答率(全国・宮城県・亶理町)

対象	教科	全国	宮城県	亶理町	全国比
小学校	国語	67.2	66	65	-2.2
	算数	62.5	60	58	-4.5
中学校	国語	69.8	70	67	-2.8
	数学	51.0	48	46	-5.0
	英語	45.6	44	39	-6.6

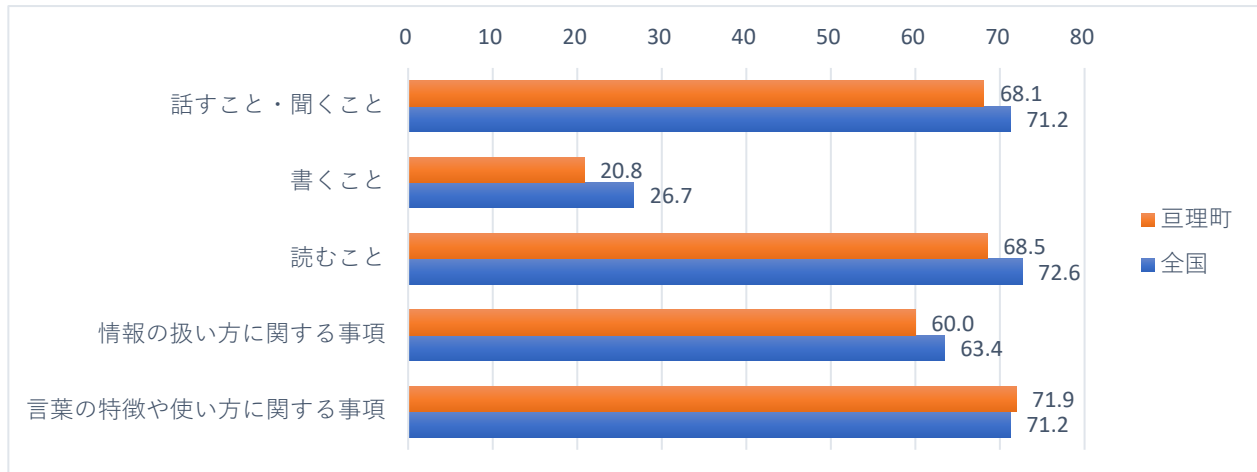
※平均正答率とは、各児童・生徒の全設問における正答数の割合(正答率)を足し合わせ、児童・生徒の人数で割った値です。

2 領域別の到達状況

(1) 小学校

【国語】

【平均正答率(%)】



平均正答率の全国との乖離

(◎: +5ポイント以上 ○: +1ポイント以上 ◇: -1ポイント以上+1ポイント未満 ▽: -1ポイント未満 ▼: -5ポイント未満)

<話すこと・聞くこと>

▽: 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉える〔3- (1)〕

▼: 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉える〔3- (2)〕

◇: 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる〔3二〕

<書くこと>

▼: 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する〔1二〕

<読むこと>

▽: 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する〔2一〕

▼: 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける〔2二〕

▽: 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる〔2四〕

<情報の扱い方に関する事項>

▼: 原因と結果など情報と情報との関係について理解する〔1一〕

▽: 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う〔2三〕

<言葉の特徴や使い方に関する事項>

◎: 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う「いがい」〔1三(1)ア〕

○: 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う「きかん」〔1三(1)ウ〕

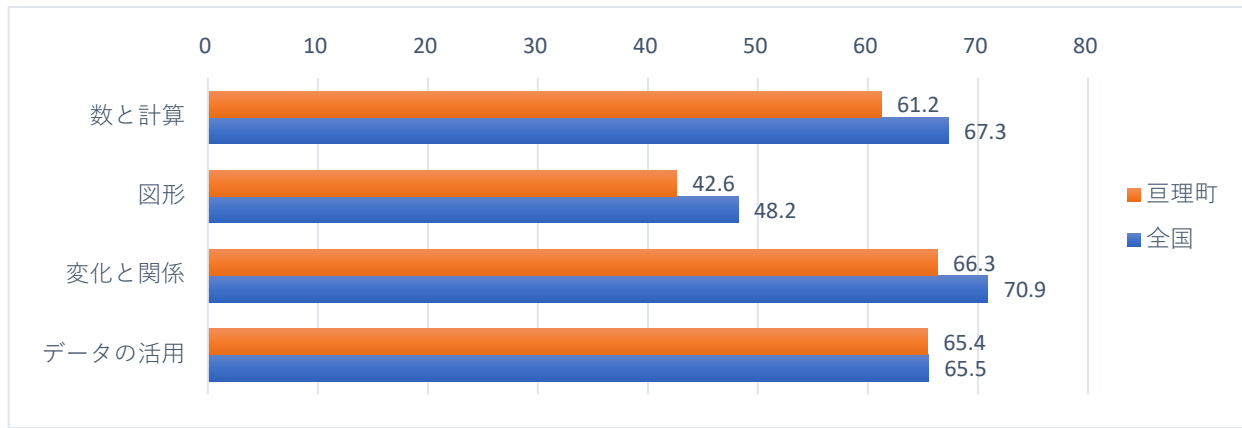
◎: 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う「くらべて」〔1三(2)イ〕

▼: 文章の種類とその特徴について理解する〔1四〕

▼: 日常よく使われる敬語を理解する〔3三〕

【算 数】

【平均正答率(%)】



平均正答率の全国との乖離

(◎: +5ポイント以上 ○: +1ポイント以上 ◇: -1ポイント以上+1ポイント未満 ▽: -1ポイント未満 ▼: -5ポイント未満)

<数と計算>

- ▼: 一の位が0の二つの2位数について、情報の計算をする[1(4)]
- ▼: ()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る[3(1)]
- ▼: 示された場面を解釈し、少数の加法や乗法を用いて求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する[3(2)]
- ▼: 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする[3(3)]
- ▼: (2位数) ÷ (1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える[3(4)]
- ▼: 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る[4(2)]

<図形>

- ▼: 台形の意味や性質について理解する[2(1)]
- ◇: 正方形の意味や性質について理解する[2(2)]
- ▼: 正三角形の意味や性質について理解する[2(3)]
- ▽: 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する[2(4)]

<変化と関係>

- ◇: 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める[1(1)]
- : 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる[1(2)]
- ▼: 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する[1(3)]
- ▼: 百分率で表された割合について理解する[4(1)]

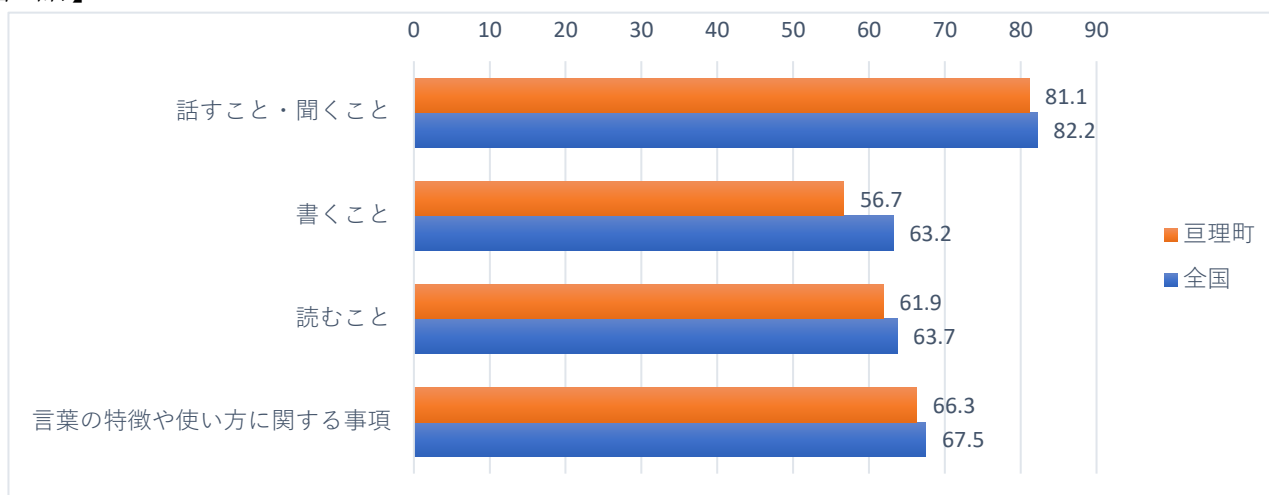
<データの活用>

- ▽: 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する[4(3)]
- : 二次元の表から、条件に合う数を読み取る[4(4)]

(2) 中学校

【国語】

【平均正答率(%)】



平均正答率の全国との乖離

(◎: +5ポイント以上 ○: +1ポイント以上 ◇: -1ポイント以上+1ポイント未満 ▽: -1ポイント未満 ▼: -5ポイント未満)

<話すこと・聞くこと>

◇: 目的や場面に応じて質問する内容を検討する〔1一〕

▽: 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する〔1三〕

◇: 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる〔1四〕

<書くこと>

▼: 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える〔3一〕

▽: 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く〔3四〕

<読むこと>

◇: 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える〔2二〕

▽: 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握する〔2三〕

◇: 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする〔2四〕

▽: 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える〔4三〕

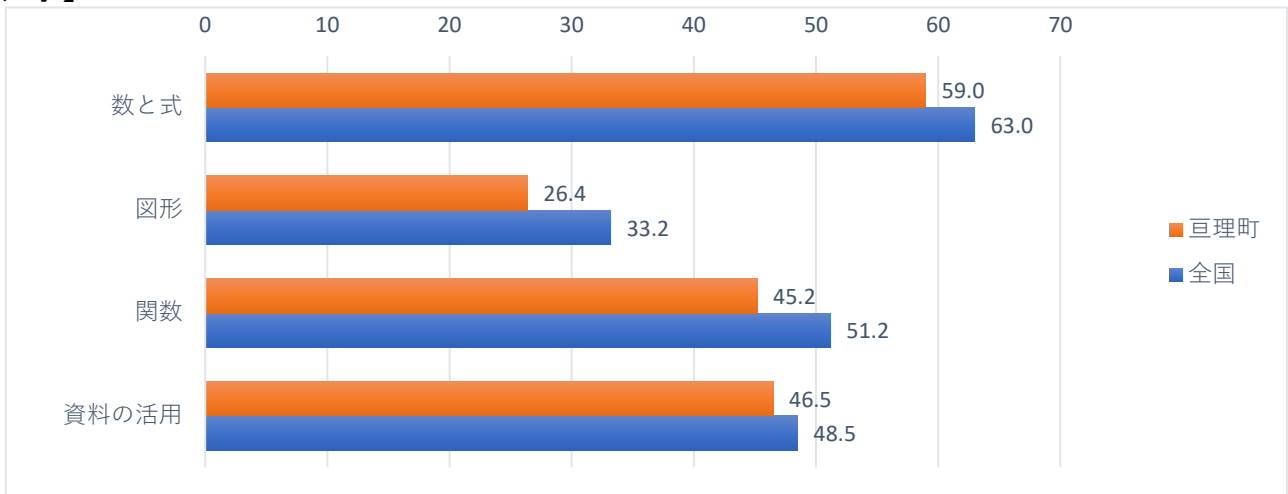
<言葉の特徴や使い方に関する事項>

▽: 事象や行為、心情を表す語句について理解する〔2一〕

○: 文脈に即して漢字を正しく書く〔3二〕

【数 学】

【平均正答率(%)】



平均正答率の全国との乖離

(◎: +5ポイント以上 ○: +1ポイント以上 ◇: -1ポイント以上+1ポイント未満 ▼: -1ポイント未満 ▼: -5ポイント未満)

<数と式>

▽: 自然数の意味を理解している[1]

○: 数と整式の乗法の計算ができる[2]

◇: 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる[6(1)]

▼: 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる[6(2)]

▼: 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる[6(3)]

<図形>

▼: 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している[3]

▼: ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる[9(1)]

▼: 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる[9(2)]

<関数>

▽: 反比例の意味を理解している[4]

▼: 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる[8(1)]

▽: 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる[8(2)]

▼: 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる[8(3)]

<データの活用>

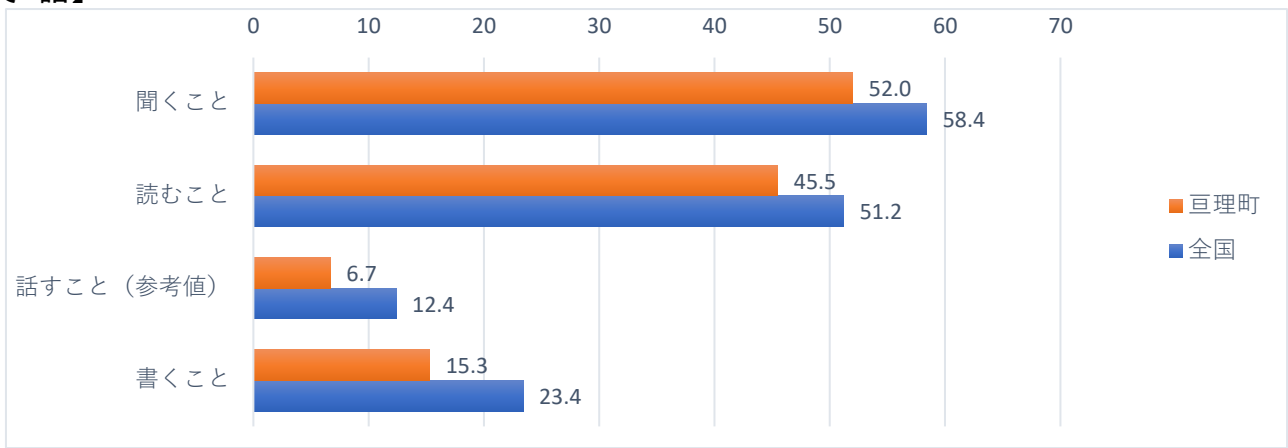
○: 累積度数の意味を理解している[5]

▽: 四分位範囲の意味を理解している[7(1)]

▼: 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる[7(2)]

【英語】

【平均正答率(%)】



平均正答率の全国との乖離

(◎: +5ポイント以上 ○: +1ポイント以上 ◇: -1ポイント以上+1ポイント未満 ▽: -1ポイント未満 ▼: -5ポイント未満)

<聞くこと>

- ◇: 情報を正確に聞き取ることができる[1(1)]
- ▼: 情報を正確に聞き取ることができる[1(2)]
- ▼: 情報を正確に聞き取ることができる[1(3)]
- ▼: 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる[2]
- ▽: 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる[3]
- ▼: 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる[4]

<読むこと>

- ▼: 情報を正確に読み取ることができる[5(1)]
- ▼: 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる[5(2)]
- ▼: 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる[6]
- ▽: 文と文との関係を正確に読み取ることができる[7(1)]
- ▽: 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる[7(2)]
- ◇: 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる[8(1)]

<書くこと>

- ▼: 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる[8(2)]
- ▼: 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる[9(1)①]
- ▼: 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる[9(1)②]
- ▼: 「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる[9(2)]
- ▽: 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる[10]

4 児童・生徒質問紙調査の結果の概要（※「児童生徒の回答」の一部抜粋）

- 「自分には、よいところがある」という項目について肯定的な回答をした割合は、小・中学校ともに県平均を下回っています。
- 平日の家庭学習の時間について、小学生で1時間以上学習している割合は県平均を上回っていますが、中学生では下回っています。
- 平日に30分以上読書をしている割合は、小学校では県平均と同等ですが、中学校では県平均を上回っています。
- 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と肯定的な回答をした割合は、小学校では県平均を下回り、中学校では県平均と同等です。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という項目について肯定的な回答をした割合は、小学校では県平均を下回り、中学校では県平均を上回っています。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでる」という項目について肯定的な回答をした割合は、小学校では県平均を下回り、中学校で県平均を上回っています。

